

## 【2020 年 研修プログラム概要】

厚生労働省より提示された「臨床研修の到達目標」を達成するために、大学病院と協力型病院が密接な連携のもと、研修プログラムを策定しています。県内の地域医療機関と一体となった医師育成に努め、臨床研修を提供します。

### 研修プログラム概要:

- 2020 年度からの新制度に則した研修内容を実施します。研修を行う分野は、内科(24 週以上)、救急(12 週以上)、地域医療(4 週以上)に加え、外科(4 週以上)、小児科(4 週以上)、産婦人科(4 週以上)、精神科(4 週以上)、一般外来(4 週以上)を研修します。麻酔科における研修期間は、4週を上限として、救急の研修期間に含めます。地域医療は、離島または許可病床数が199床以下の本院の協力型病院を選択し研修可能です(在宅医療を含む)。
- 原則として、研修期間の1年以上(52 週以上)は基幹型臨床研修病院(本院)で研修を行うことが定められています。地域医療における研修期間は 12 週を上限として、基幹型臨床研修病院で行ったこととみなすと規定されています。本院のプログラムでは地域医療を幅広く経験するために地域医療研修期間を 12 週と設定します。そのため、基幹型臨床研修病院(本院)の研修期間は40 週以上が必要となります(本院研修期間:40 週~92 週、協力型病院研修期間:12 週~64 週)。研修を実施する協力型病院は個人の希望をもとに、複数組合せて研修可能です。
- 一般外来研修(4 週以上)は、地域医療研修を中心に十分な期間をかけ、段階的に外来診療スキルを修得するため「並行研修」を行います。
- 研修ローテーションは、研修医個人の多様な希望に柔軟に対応するために、地域医療研修(原則、2 年目)以外については、必修科目および選択コースも含めて、希望する順序で研修可能です。
- 本院および協力型病院における選択コースは、4 週単位で研修診療科の選択が可能です。協力型病院では、必修科目および選択コースを含めた3ヶ月以上の研修期間が必要です。
- 大学病院として32専門診療科を標榜しており、基本領域専門研修プログラムに加え多数のサブスペシャリティ領域専門研修プログラムを有しており、資格取得に優位であり、専門研修にシームレスにつながる臨床研修を提供しています。